

管理番号 5221099

令和5年4月1日

島根県仁多郡奥出雲町横田1536  
有限会社 エコクリーン 御中

## 試験結果報告書

ご依頼いただいた試験の結果を別紙の通り報告致します。

### 道路用砕石試験

種類及び呼び名:再生砕石RC-30(砕石90%・コンクリート10%)

株式会社 ツチケン  
島根県東部建設試験センター  
島根県出雲市斐川町荘原2750-5  
TEL (0853)73-7137  
FAX (0853)73-7138

試験結果一覧表

管理番号 5221099

依頼者 有限会社 エコクリーン

整理年月日 令和5年4月1日

産地 島根県仁多郡奥出雲町横田地内

整理担当者 津田 和宏



試験名		種類及び呼び名	再生砕石RC-30 (砕石90%・コンクリート10%)		
JIS A 1102	ふるい分け試験	粗粒率	6.09		
JIS A 1103	微粒分量試験	微粒分量%	—		
JIS A 1104	単位容積質量試験	単位容積質量 kg/l	—		
		実積率%	—		
JIS A 1105	有機不純物試験	標準色に比較して	—		
JIS A 1109	密度及び吸水率試験	表乾密度 g/cm <sup>3</sup>	—		
		絶乾密度 g/cm <sup>3</sup>	—		
		吸水率%	—		
JIS A 1121	すりへり試験	すりへり減量%	16.9	JIS A 5001:5.4による	
JIS A 1122	安定性試験	安定性損失量%	—		
JIS A 1137	粘土塊量試験	粘土塊量%	—		
JIS A 1205	液性塑性限界試験	塑性指数 PI	NP		
JIS A 1211	C B R 試験 (舗装調査・試験法便覧準拠)	試料準備の方法	空気乾燥法		
		<sup>注1)</sup> 最適含水比%	6.8		
		<sup>注1)</sup> 最大乾燥密度 g/cm <sup>3</sup>	2.030		
		突固め回数	17回	42回	92回
		膨張比 re%	0.002	0.004	0.004
		貫入試験後含水比%	8.8	8.5	7.7
		平均 C B R %	25.0	61.5	98.0
		<sup>注2)</sup> 修正 C B R %	55.4		

特記事項

注1)最適含水比及び最大乾燥密度は、JIS A 1210のE-b法により求めた。

注2)修正CBRは締固め度95%と所定の締固め回数における平均CBRより求めた値です。(舗装調査 試験法便覧)

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験			5221099	
調査件名 道路用砕石試験			試験年月日 令和5年3月8日			
種類及び呼び名 再生砕石RC-30(砕石90%・コンクリート10%)			試験者 津田 和宏			
試料の種類		再生クラッシュラン	採取年月日		令和5年3月1日	
試料の産地		島根県仁多郡奥出雲町横田地内	採取者		有限会社 エコクリーン	
全乾燥試料質量		7943.3 g	ふるい分け方法		手動+機械	
ふるい目の開き (mm)	各ふるいにとどまる質量 (累加) (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)	
106						
75						
63						
53						
37.5	0.0	0.0	0	0	100	
31.5	322.4	322.4	4	4	96	
26.5	708.2	385.8	5	9	91	
19.0	2070.7	1362.5	17	26	74	
16.0	2539.0	468.3	6	32	68	
9.5	4143.9	1604.9	20	52	48	
4.75	5595.4	1451.5	18	70	30	
2.36	6525.4	930.0	12	82	18	
1.18	7161.6	636.2	8	90	10	
0.6	7447.2	285.6	4	94	6	
0.3	7724.3	277.1	3	97	3	
0.15	7817.4	93.1	1	98	2	
0.075	7858.2	40.8	1	99	1	
以下	7943.3	85.1	1	100	0	
計	7943.3	7943.3	100			
粗粒率 ( F . M )				6.09		
<粒度加積曲線図>						
<p>The graph plots cumulative percentage (%) on the y-axis against sieve size (mm) on the x-axis. The x-axis is logarithmic, with major ticks at 0.075, 0.15, 0.3, 0.425, 0.6, 1.18, 2.36, 4.75, 13.2, 16.0, 19.0, 26.5, 31.5, 37.5, 53, 63, 75, and 106. The y-axis is linear, ranging from 0 to 100 in increments of 10. A solid line with circular markers represents the test data. Two dashed lines represent the upper and lower limits of the standard. The test data points are approximately: (2.36, 20), (4.75, 32), (19.0, 74), (31.5, 96), (37.5, 100).</p>						
備考 JIS A 5001 表2の規定による						

JIS A 1121	ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験	5221099
------------	------------------------	---------

調査名・目的	道路用砕石試験		
種類及び呼び名	再生砕石RC-30(砕石90%・コンクリート10%)	試験者	津田 和宏
産地	島根県仁多郡奥出雲町横田地内	試験場所	島根県東部建設試験センター
採取者	有限会社 エコクリーン	試験年月日	令和 5年 3月 23日
採取年月日	令和 5年 3月 1日	玉の数(個)	8
最大寸法(mm)	13	回転速度(回/分)	33
粒度区分	附属書A VII	回転数(回)	500
		鋼球質量	3334

試験日の状態	室温(℃)	湿度(%)	水温(℃)	乾燥温度(℃)
	21	42		105

記事	
----	--

ふるい分け試験			試験前の試料の質量(g)
とどまるふるい(mm)	通るふるい(mm)	各群の質量分率(%)	
-	2.5		
2.5	5		
5	13		5000
13	15		
15	20		
20	25		
25	40		
40	50		
50	60		
60	80		
合計			① 5000
② 試験後, 1.7mmふるいとどまった試料の乾燥質量(g)			4155
③ すりへり損失質量 ① - ②(g)			845
④ すりへり減量 $\frac{③}{①} \times 100$ (%)			16.9

備考： (注) 試験方法は、JIS A 1121 附属書A 表A.1-VII及びJIS A 5001 5.4項に従う。

調査名・目的 道路用砕石試験

試験年月日 令和 5年 3月 23日

試料の産地 島根県仁多郡奥出雲町横田地内

試験者 土江 真紀

種類及び呼び名 再生砕石RC-30(砕石90%・コンクリート10%)

液性限界試験

落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

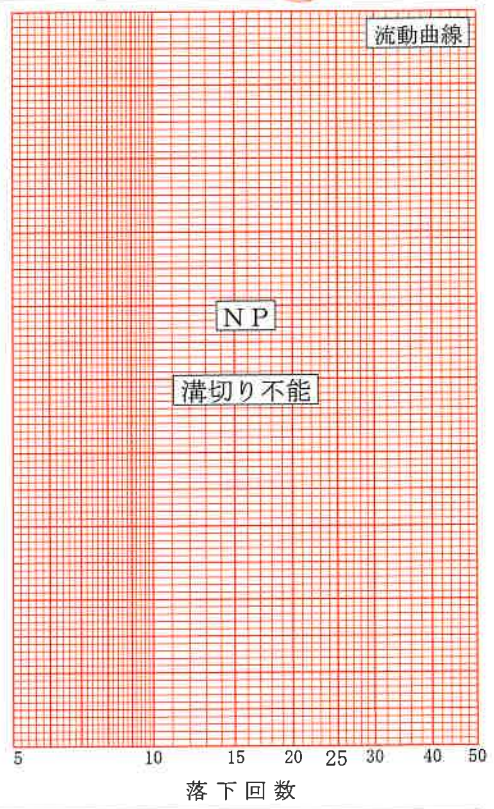
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

塑性限界試験 ヒモ状にならず試験不能

含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$
NP	NP	NP

(%)  
w  
比  
水  
和



試料番号 (深さ)

液性限界試験

落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

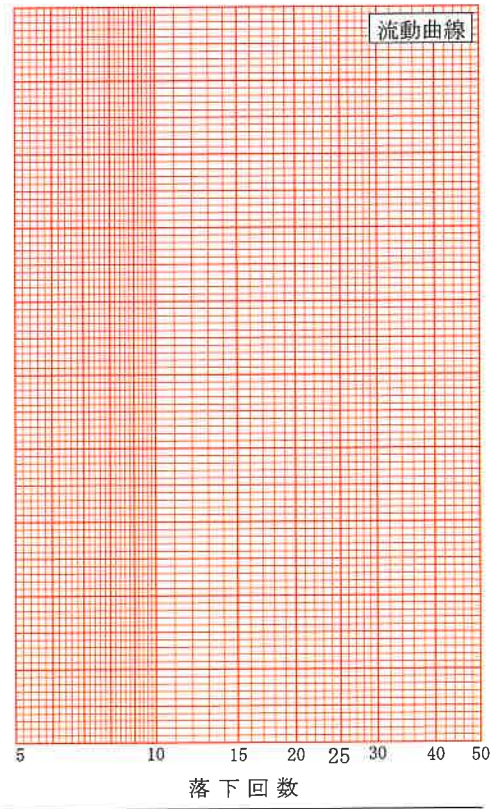
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

塑性限界試験

含 水 比	容器 No.		
	$m_a$ g		
	$m_b$ g		
	$m_c$ g		
	$w$ %		

液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	塑性指数 $I_p$

(%)  
w  
比  
水  
和



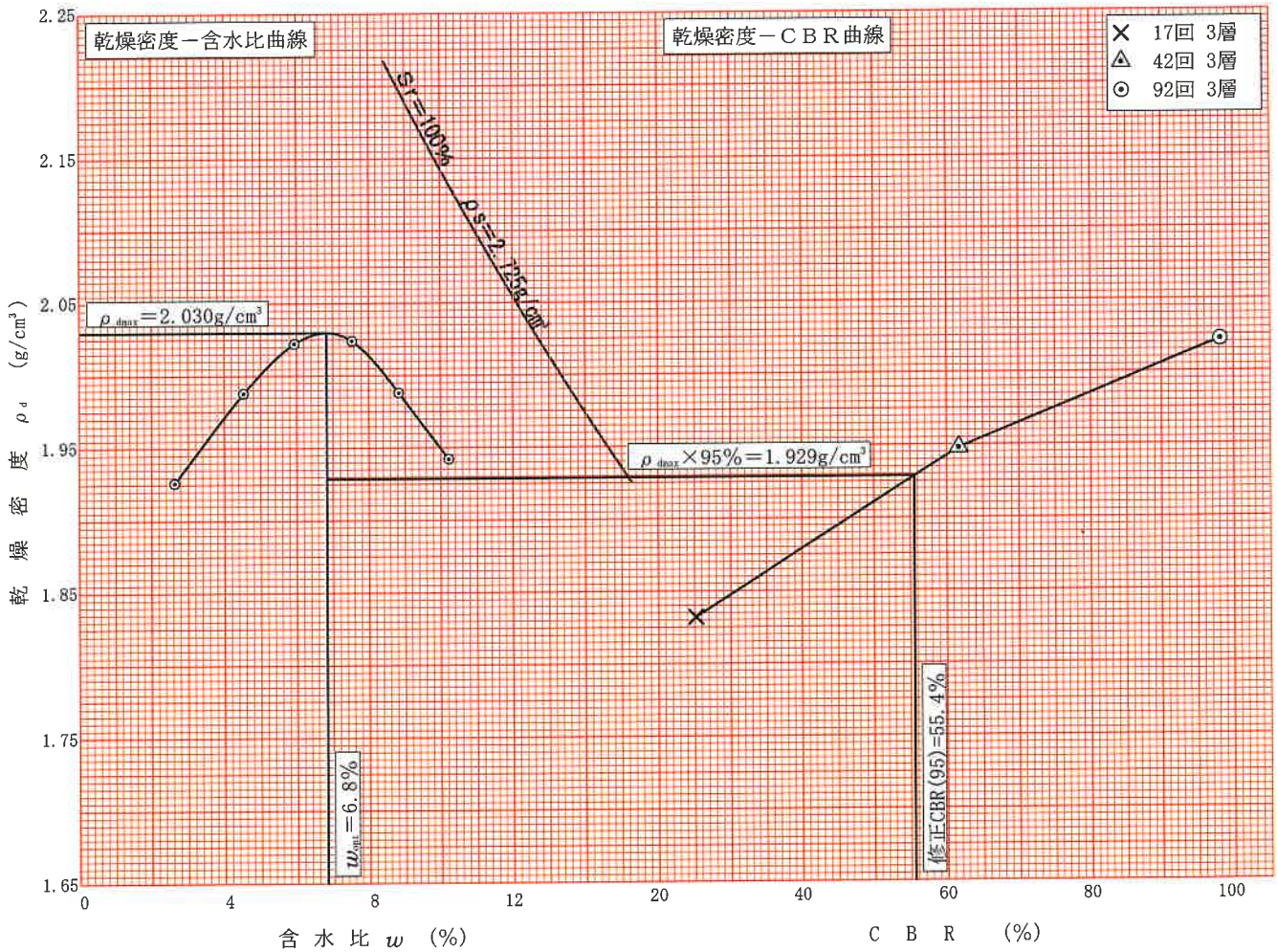
特記事項

# 修正 C B R 試 験

5221099

調査名・目的 道路用砕石試験 試験年月日 令和 5年 4月 1日  
 試料の産地 鳥根県仁多郡奥出雲町横田地内 試験者 津田 和宏  
 種類及び呼び名 再生砕石RC-30(砕石90%・コンクリート10%) 試料の種類 再生クラッシュラン

突 固 め 回 数	回/層	17 ( 3 層)			42 ( 3 層)			92 ( 3 層)		
供 試 体 No.		1	2		1	2		1	2	
乾 燥 密 度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.833	1.830		1.945	1.951		2.020	2.023	
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		1.832			1.948			2.022		
貫入量2.5mmにおけるCBR %		24.1	22.8		58.7	56.9		92.5	97.3	
平 均 値 %		23.5			57.8			94.9		
貫入量5.0mmにおけるCBR %		25.6	24.4		62.5	60.4		98.2	97.8	
平 均 値 %		25.0			61.5			98.0		
ランマー質量 kg	4.5	最大乾燥密度 $\rho_{dmax}$ g/cm <sup>3</sup>			2.030			締 固 め 度 %		
					6.8			95		
		最適含水比 $w_{opt}$ %			6.8			修 正 C B R %		
								55.4		



**特記事項**

・突固めによる土の締固め試験結果

測定番号	1	2	3	4	5	6
湿潤密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.976	2.077	2.141	2.176	2.163	2.140
乾燥密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.926	1.988	2.022	2.024	1.988	1.942
含水比 (%)	2.6	4.5	5.9	7.5	8.8	10.2

・突固め条件

モールド内径	15cm
ランマー質量	4.5kg
落下高さ	45cm
突固め回数/層	92回/3層

修正CBRは締固め度95%と所定の締固め回数における平均CBRより求めた。(舗装調査 試験法便覧)